割り勘で
夢をかなえよう！
事業指定助成プログラム

事業実施報告書

平成 26 年 3 月

一般財団法人
みんなでつくる財団おかやま
OKAYAMA Share foundation

通常の助成とは違う「つながりが生まれる助成事業」

「割り勘で夢をかなえよう！」事業指定助成プログラム、通称「割り勘」とは、寄付を原資とした助成事業です。NPO・市民団体等が取り組む事業内容を社会に発信し、事業への賛同者を募ることで、寄付により資金集めを支援する地域版クラウドファンディングです。一般期な助成事業との大きな違いは、「助成財源がない」ことです。そのため、割り勘事業実施団体は、目標金額を設定し寄付募集活動を行わなければなりません。しかし、実施団体自らが寄付募集活動を行うことで、事業に認知度、重要性が広く伝わり、事業に関わる仲間や入ってくる情報が増え、実施団体の意識も高まることから、事業の継続性と質を高めることができます。助成金額に加え「つながり」というプラスαの価値が生まれ得ることができる助成事業です。

割り勘事業に取り組んで変わったこと

事例１「広域避難親子への心豊かな時間のプレゼント事業」（特定非営利活動法人 岡山市子どもセンター）

「東日本大震災の影響により岡山へ自主避難されて来ているご家族に少しでも夢や希望、そして、生きる力を持っていただきたい」という思いを込め、同団体が行っている生の舞台鑑賞会へ招待する事業を実施しました。割り勘事業に参加し、FACEBOOK 等の SNS や募金箱、イベントでの PR 活動を行うことで、今まで活動を伝えることができなかった層へ活動の内容を伝えることができました。

その結果、割り勘事業を通じてこの取り組みを知ったレストラン経営者の方がレストランを交流会の場として提供してくださり、予定していた事業に追加するかたちで、自主避難されて来ているご家族、被災地支援を行っている大学生、実施団体の交流会を開催することができました。

この交流会で避難者の生の声を聴くことができ、今後の支援に活かすことができる良い場となりました。

また、事業終了後に割り勘事業で寄付をしてくださった方に寄付のご報告をしたところ、今後の活動も応援したいと２回目の寄付をいただくことができました。

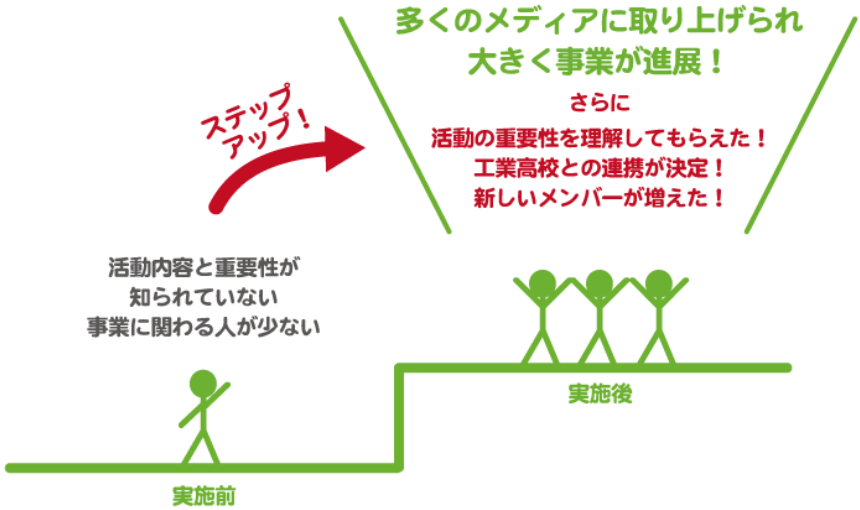
この事業は、広く個人向けに活動を伝えることで世代・職種を問わず多くの方々へ活動の内容と意味を伝えることができ、その結果、継続して寄付をしてくださる方や資金面以外での支援をしてくださる方が増えた事例です。

事例２「地域をみんなで守ろう！「橋守」サポーター養成モデル事業」（特定非営利活動法人 TEC.ECO 再生機構）

岡山県内 市民の目で橋守れ

NPOが「サポーター」養成へ

外出時に老朽化点検



橋の数が多く行政だけではメンテナンスを行うことができない 15m 未満の橋の老朽化問題に対して、市民が地域の橋梁のメンテナンス活動を行う橋守サポーター制度を作るために「市民向け簡易橋梁点検マニュアル」「地域のできることチェックリスト」を作成する事業を行いました。

この事業は、取り組み内容と重要性を団体から個人向けに発信しても、「行政がやることでしょ？」となかなか理解してもらえないという課題を抱えていました。

割り勘事業では、団体から個人に向け広く PR を行うのではなく、対象を企業と各種メディアに絞り込みました。その結果、新聞やテレビなどのメディアに取り上げていただくことができました。メディアを通じて活動内容と取り組みの重要性を伝えることで、今まで理解していただくことができなかった方々に理解をしてもらうことができるようになりました。

活動内容が広く知られたことで、岡山県立笠岡工業高等学校との連携が実現し、授業の一貫として継続して橋梁のチェックを行っていくことがきまりました。また、「活動に関わりたい」と新しいメンバーが増えました。

この事業は、割り勘事業に参加したことをきっかけに、事業が大きく前進した事例です。

つながりを生むため行っていること

割り勘事業では、課題と取り組み内容を明確にする事業計画書や TTS シートという寄付者のターゲティングシートなどのつながりを生むためのツールを活用し、より効果的に寄付集めができる様に取り組んでいます。また、活動内容説明会　やチャリティーイベントを企画し、実施団体へ広報の場を提供しています。

第 1 期から第 3 期までの実績

当財団が設立した平成 24 年 9 月から平成 26 年 3 月末までに 3 回の「割り勘で夢をかなえよう！」事業指定助成プログラムを実施しました。のべ 435 名（募金箱除く）の方から、2,987,887 円のご寄付をいただき、14 団体へ合計 2,518,000 円の助成を行いました（システム利用料等の経費を除いた金額を助成）。実施期ごとの実績及び各事業の実施状況は下記の通りです。

	事業名	事業実施団体（応募時）	a. 助成金額 ※()内は助成目標額 単位：円	b. 寄附総額 ※()内は寄附目標額 単位：円	のべ 寄付者数 ※募金箱への寄附者をのぞく	実施状況
第1期	カンボジア小学校体育科教育 指導書作成・配布プロジェクト	特定非営利活動法人 ハートオブゴールド	65,050 (300,000)	76,150 (350,000)	*17人*	実施完了
	フードバンク岡山 設立事業	特定非営利活動法人 杜の家	152,000 (200,000)	176,221 (230,000)	*39人*	実施完了
	「ふぁみりえんのたくじ」で 「母子避難者支援」	特定非営利活動法人 0-99おかやまおしえてネット	269,650 (500,000)	316,300 (580,000)	*28人*	実施完了
	「大人が本気になる時がきた」 中山間地域・倭文西の挑戦	倭文西まちづくり協議会	113,800 (300,000)	132,300 (350,000)	*25人*	実施完了
	若者が多様な働き方に出会えるイベント 「だっぴ50x50」開催プロジェクト	かいわれの会	121,000 (100,000)	142,000 (120,000)	*32人*	実施完了
	「命の授業ー子どもたちに命の大切さを語り継ぐー」 書籍化プロジェクト	認定特定非営利活動法人 おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ	135,500 (600,000)	158,600 (690,000)	*33人*	平成26年7月 完了予定
第1期 合計			**857,000** (2,000,000)	**1,001,571** (2,320,000)	***174人***	－
第2期	地域をみんなで守ろう 「橋守」サポーター養成モデル事業	特定非営利活動法人 TEC.ECO 再生機構	339,000 (445,000)	356,842 (480,000)	*18人*	実施完了
	低学歴の子どもたちに職業選択の幅を 拡げるための学習支援事業	認定特定非営利活動法人 子どもシェルターモモ	336,000 (300,000)	394,421 (355,000)	*59人*	実施完了
	N家の蔵再生プロジェクト ～蔵から見える、未来の暮らし～	一般社団法人 倉敷未来機構	87,000 (200,000)	114,842 (236,000)	*21人*	平成26年9月 完了予定
	広域避難親子への 心豊かな時間のプレゼント事業	特定非営利活動法人 岡山市子どもセンター	228,000 (315,000)	294,737 (371,000)	*44人*	実施完了
第2期 合計			**990,000** (1,260,000)	**1,160,842** (1,442,000)	***142人***	－
第3期	歌って・踊って・社会貢献する ウッディボーイズ発掘・育成プロジェクト	特定非営利活動法人 ふれあいサポートちゃていず	182,000 (350,000)	200,632 (420,000)	*28人*	平成26年11月 完了予定
	外国人技能実習生受入支援事業 多言語 Web サイトの構築とフリーコール電話相談	特定非営利活動法人 メンターネット	200,000 (500,000)	263,158 (590,000)	*26人*	平成26年12月 完了予定
	海を汚す川ゴミをみんなで楽しく探して 意識を変えるプロジェクトごみポイ捨て 0 作戦	特定非営利活動法人 グリーンパートナーおかやま	192,000 (250,000)	235,365 (290,000)	*29人*	平成27年3月 完了予定
	農業タスクを手伝いたい人と 農家がつながる WIN-WIN-WIN な縁組み	タスクン・サークル （TASK 'n' Circle）	97,000 (850,000)	126,316 (1,000,000)	*36人*	平成26年6月 完了予定
第3期 合計			**671,000** (1,950,000)	**825,471** (2,300,000)	***119人***	－
第1～3期 合計			**2,518,000** (5,210,000)	**2,987,884** (6,062,000)	***435人***	－

事業実施完了となっている事業の報告内容は挟み込みの事業報告書をご覧ください。

■事業実施者の声

「割り勘で夢をかなえよう！」での資金集めは、お一人おひとりの顔と想いがより近く感じることが出来るので、普通の助成金とは全く違う感じがします。嬉しい気持ちと共に、こんなに多くの方に応援頂いているということが分かり、もの凄く気が引き締まります。多くの人に納得頂ける結果に繋げられるように、精一杯頑張ろうと思います。本当にありがとうございました。（第 1 期提案団体）

■寄附者の声

テレビや新聞でみて、既に知っている取組み(課題)であり、内容が分かるからこそ、自分も関われると思い、応援させてもらいました。特に被災地の母子や DV に関することなど自分が気になっていたことの活動が応援出来てよかったです。(60 代女性)

自分も関心があるけど、なかなか取り組みできていない、子どもの分野へ寄附をしました。事業結果も届くということで、自分のこの事業を支えるという実感があり楽しみにしています。(30 代男性)

割り勘事業の今後について

第 3 期より Share 会議と称し（第 3 期では公開課題提案）地域の課題を発信・発見する場を設置し、毎月 19 日に開催しています。今後も Share 会議にて課題の種を発見し、割り勘事業につなげることで地域課題の解決に取り組む活動を育て、みんなの何とかしたいをカタチにし、安心で持続可能な地域社会の実現を目指していきます。

一般財団法人
みんなでつくる財団おかやま
OKAYAMA Share foundation

〒700-0822　岡山市北区表町 1 丁目 4-64　上之町ビル 3 階
TEL 070-5056-3029 (直通) TEL 086-206-2195（代表）FAX 086-206-2196
E-mail info@mintuku.jp　　URL http://mintuku.jp/
受付時間祝日を除く月曜日～金曜日 10：00 ～ 17：00